

# エコアクション21 環境経営レポート



2022 年度

(対象期間 2021 年 10 月 1 日～2022 年 9 月 30 日)

2022 年 12 月 28 日

ニッカル商工株式会社

## 1. 環境経営方針

### 環境理念

ニッカル商工株式会社は、環境に優しいアルミニウム素材・製品の販売・加工業務を通じてかけがえのない地球環境の保全が、私たち世代の重要課題の一つであると考え、持続可能な循環型社会形成に寄与出来る事業活動を目標とします。

### 環境経営方針

1. 環境保全に関する目標を設定し、取組結果を見直すことにより、継続的な環境改善に取り組んでいきます。
2. 資源・エネルギーの消費や廃棄物の排出状況等をチェックし、環境への負荷を常に認識し、Reduce（廃棄物削減）, Reuse（再使用）, Recycle（再利用）に取り組めます。
3. 環境関連法規及び当社が同意した各種協定を遵守します。
4. 販売する商品に含まれる有害化学物質の使用禁止及び削減をメーカーと共に推進します。事務用品、資材等のグリーン購入に努めます。
5. 全従業員に対して、この環境方針の周知徹底を図るとともに、環境教育を計画的に行い、環境保全活動の定着、向上に努めるとともに、環境行動計画及びその実施状況並びに環境関連情報については、「環境レポート」に取りまとめ公表します。

制定 2012年1月16日

改訂 2013年11月27日

改訂 2019年10月1日

ニッカル商工株式会社

代表取締役 松下 力

## 2. 事業の概要

1. 事業者名           ニッカル商工株式会社
2. 所在地            東京都大田区東糀谷 1-8-19
3. 環境保全関係の責任者及び連絡先  
環境管理責任者：総務課 課長 酒井 康弘  
連絡先：    T E L    03-6825-3378  
              F A X    03-5735-2971  
              E-mail   y\_sakai@nikakl.net

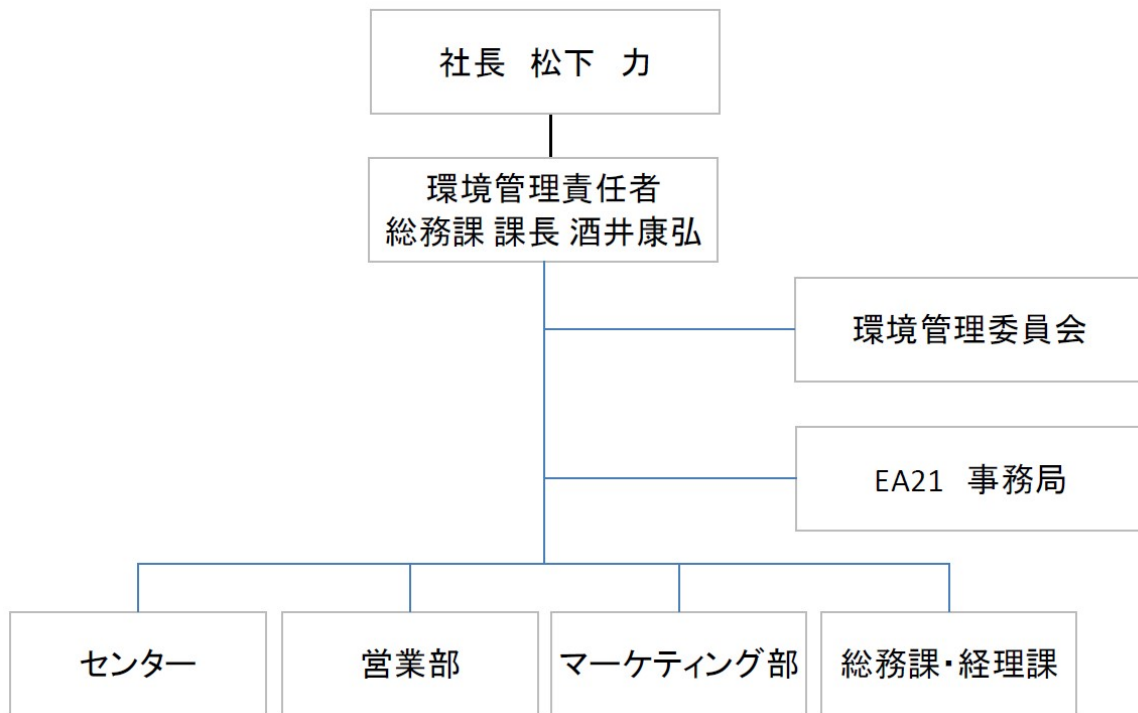


4. 事業の内容           アルミニウム圧延品・その他非鉄金属材料の販売および加工
5. 事業の規模        

事業年度	2020年度	2021年度	2022年度
従業員	16名	17名	18名
事業所床面積	1005 m <sup>2</sup>	1005 m <sup>2</sup>	1005 m <sup>2</sup>

### 3. 環境管理組織

## EA21実施体制図



#### 社長

1. 環境経営方針を定め、環境管理責任者を任命する。  
当該責任者には、現在の責務に関係なく、環境経営システムを運用・維持管理する責任と権限を明示する。
2. 環境経営システムの実施・運用の為の経営資源を準備する。
3. 環境経営目標、環境経営計画の承認。
4. 環境マニュアル及び規定類の制定・改訂の承認。
5. 環境管理委員の任命。
6. 環境経営システムの見直し。
7. 代表者による経営における課題とチャンスの明確化

#### 環境管理責任者

1. 環境管理委員会を運用・維持管理する責任として、環境経営システムが全ての部署で確実に実行、維持されるための必要な活動の管理と推進をする。
2. 社長に環境経営システムの実績の報告及び見直し記録の報告。

#### 環境管理委員会

1. 環境管理責任者を委員長とし、環境管理責任者及び環境経営最高責任者から選任された委員で構成し、環境方針、環境目標、実施計画、教育訓練計画等会社の環境に関する事項の立案及び運用状況の審議等を行なう。

#### 各部推進責任者

1. 自己の管理範囲内において、全員参画によるシステムの運用及び管理に責務を負い、部門内の必要な人材育成、パフォーマンスの向上を図る。

#### 計量担当者

1. 使用量・排出量の調査を実施する（毎月）

#### 従業員

1. 日常の業務において、環境方針に基づき、システム規格類及び関連する法規制とその他の要求事項の遵守。

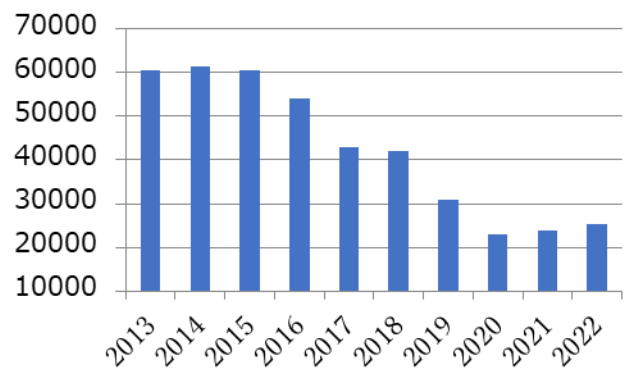
#### 4. 環境への負荷の現状と環境経営目標

環境負荷別項目		前年度実績	2022年度目標		運用期間実績		次年度		次々年度
		2021年度			2022年度	前年度比	2023年度目標		2024年度目標
	単位	実績	目標策定基準	目標値	実績	増減率	目標策定基準	目標値	目標策定基準
電気使用量	kWh	23,828	2021年度 実績-0.5%	23,708	25,380 対目標×	6.5%増	2022年度 実績-0.5%	25,253	2022年度 実績-1%
ガソリン	ℓ	1,431	2021年度 実績-0.5%	1,423	1,916 対目標×	34.7%増	2022年度 実績-1%	1,896	2022年度 実績-2%
軽油	ℓ	6,368	2021年度 実績-0.5%	6,336	5,968 対目標○	5.8%減	2022年度 実績-0.5%	5,938	2022年度 実績-1%
トラック燃費	km/ℓ	8.0	2021年度 実績+0.5%	8.04	6.77 対目標×	15.8%減	2022年度 実績+1%	6.83	2022年度 実績+1.5%
上下水道使用量	m <sup>3</sup>	187	2021年度 実績-0.5%	186	155 対目標○	17.1%減	2022年度 実績-0.1%	154	2022年度 実績-0.2%
CO <sub>2</sub> 排出量 ※1	kg-CO <sub>2</sub>	30,781	2021年度 実績-0.5%	30,627	31,594 対目標×	3.2%減	2022年度 実績-0.5%	31,436	2022年度 実績-1%
一般廃棄物排出量	kg	2,734	2021年度 実績-0.5%	2,720	1,685 対目標○	38.1%減	2022年度 実績-1%	1,668	2022年度 実績-2%
産業廃棄物排出量	kg	500			460	8%減	2022年度 実績-1%	455	2022年度 実績-2%
有害化学物質の管理		顧客より、有害化学物質の非含有証明書の提出を求められた場合、要求期日以内に対応する。							
グリーン購入（アスクル購入品） （グリーン年間購入金額割合）	%	27.7%	2021年度 目標の維持	35.8%	31.0% 対目標×	11.9%増	2022年度 実績+3%	31.9%	2022年度 実績+6%
職場環境の改善 「有給取得率の向上」	%	(参考)23.2%	2021年度 目標の維持	75.0%	76.6% 対目標○	—	2022年度 目標の維持	75.0%	2022年度 目標の維持

※1 2018年度 CO2排出係数 電力0.441 都市ガス 0.0509 ガソリン 0.0671 軽油 0.0687

## 5. 環境活動の取組み結果の評価と見直し、翌年度の計画

### 電気使用量 (kWh)

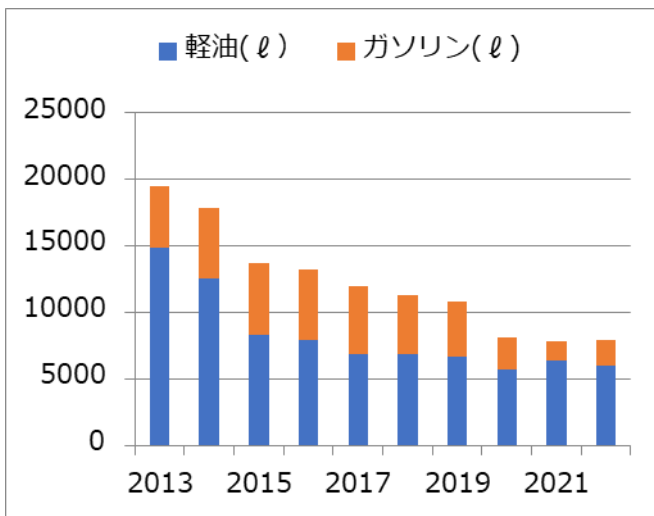


### ・電気使用量の削減

電気使用量は前年度より 6.5%増の 25,380kWh という結果となりました。

今年度は、新型コロナウイルス影響が更に落ち着き、事業活動を積極的に進めたことで増加となりました。次年度は、電気使用量を削減できるよう、社内啓蒙活動を進めていきます。次年度電気使用量の目標は、今年度実績より 0.5% 削減の 25,253kWh とします。計画としては、①就業時間前後の空席エリア消灯、②電気ポット 17:30FF、③冷暖房の温度設定とします。





## ・ガソリン・軽油使用量の削減

ガソリン使用量は前年度より34.7%増加の1,916Lという結果となりました。

今年度は、新型コロナウイルス影響が更に落ち着き、事業活動を積極的に進めたことで営業車の使用が増え、増加になりました。

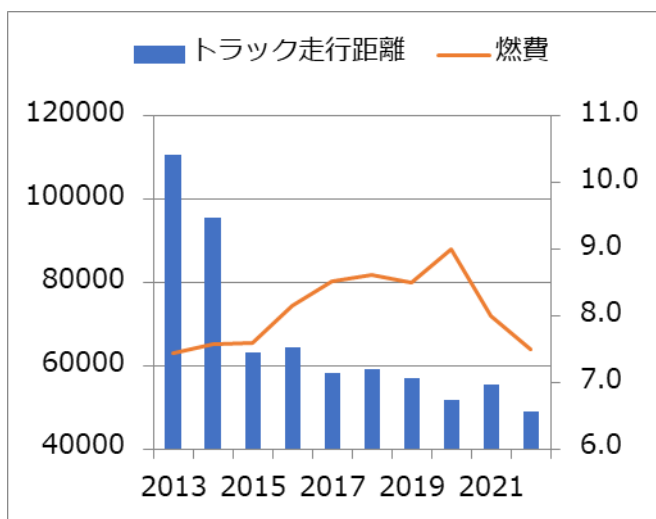
次年度ガソリン使用量の目標は、今年度実績より0.5%削減の1,907Lとします。

軽油使用量は前年度より5.8%減少の5,968Lという結果となりました。

今年度は客先配達の効率化により減少になりました。

次年度軽油使用量の目標は、今年度実績より0.5%削減の5,938Lとします。

計画は①エコ運転の推進とします。



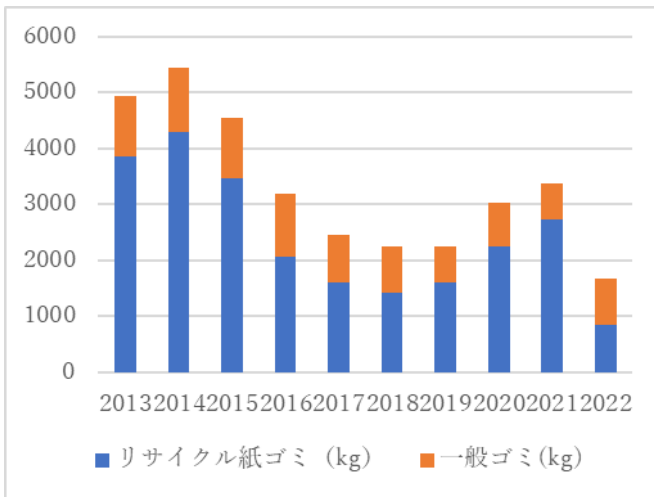
## ・トラックの燃費

自社配送トラックの走行距離は、前年度より11.5%削減の49,250kmとなりました。

燃費は6.77km/Lとなり、目標の8.04km/Lは未達成となりました。今年度、運転の啓蒙活動は継続的に行っていましたが、未達という結果に終わりました。

次年度燃費の目標は、2021年度実績より0.5%削減の6.80km/Lとします。





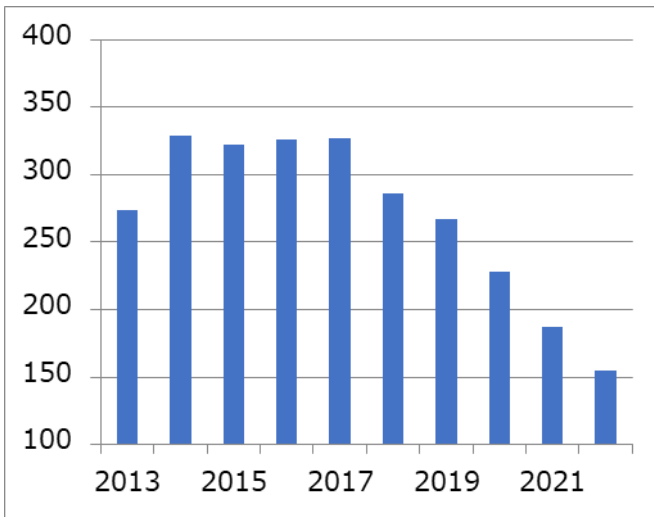
### ・一般廃棄物排出量の削減

一般廃棄物排出量は前年度より 38%減少の 1,685kg という結果となりました。

今年度はゴミ削減の啓蒙活動を続けた結果、大幅な削減につながりました。次年度も引き続き排出量を削減できるよう社内啓蒙活動を進めていきます。

次年度の一般廃棄物排出量の目標は、今年度実績より 0.5%削減の 1,600kg とします。

計画は①分別の徹底、②再資源化の優先、③鉄くず等は再処理業者へ引渡しとします。



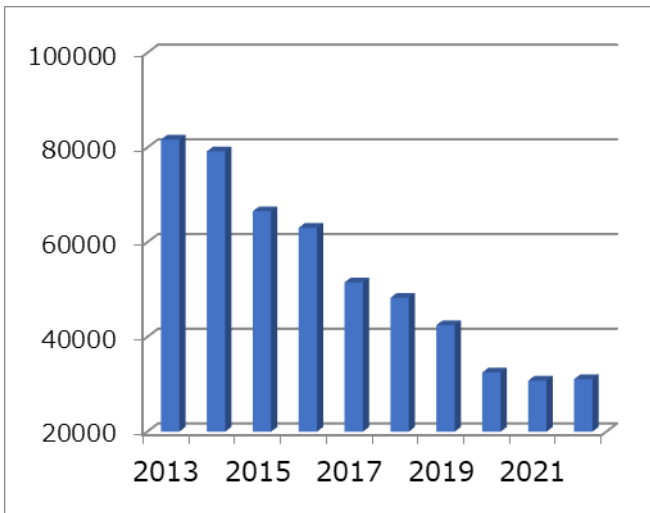
### ・水道使用量の削減

水道使用量は前年度より 17.1%削減の 155 m³という結果となりました。

今年度はコロナウィルスの影響で、引き続き事務所の使用が減少し削減になりました。

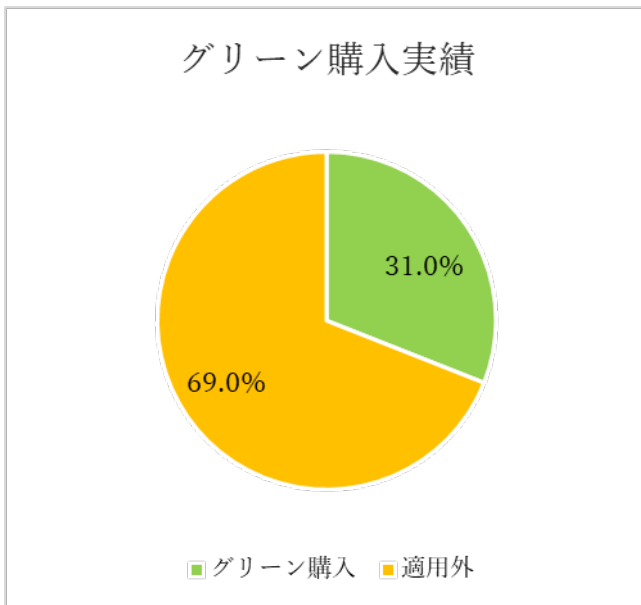
次年度の水道使用量の目標は、今年度の実績より 0.5%削減の 154 m³とします。

計画は①節水の注意喚起、②水漏れ箇所の確認とします。



### ・ CO2 排出量の削減

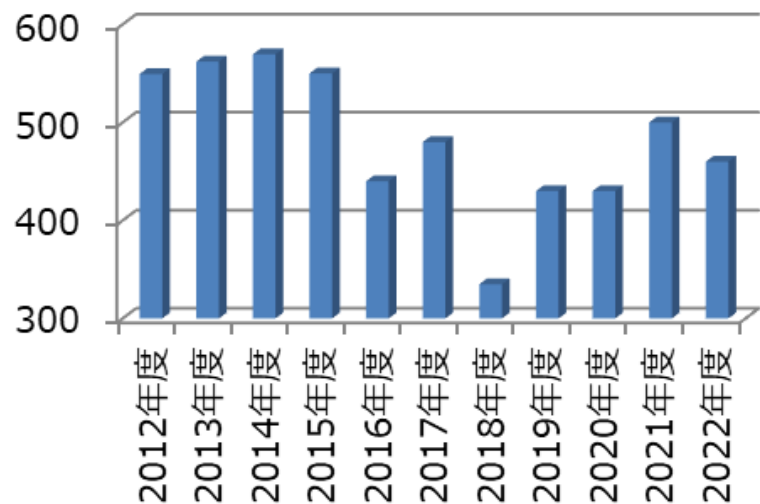
CO2 総排出量は前年度より 3.2%増加の 31,594kg-Co2 という結果となりました。  
 今年度は、事業活動が復調したことによりエネルギー使用が増え、結果として CO2 排出量も増加になりました。  
 次年度 CO2 総排出量の目標は、今年度実績より 0.5%削減の 31,436kg-Co2 とします。



### ・ グリーン購入年間購入金額割合（アスクール購入品）

グリーン購入金額割合は前年度より 11.9%増加の 31.0%という結果となりました。  
 前年度と購入方法に特に変わりはありませんでしたが、グリーン関連の商品の購入量が減ったため、割合が増加しました。  
 次年度のグリーン購入金額割合の目標は、今年度目標の維持で 35.8%とします。

■ 産業廃棄物排出量



## 産業廃棄物の排出量

産業廃棄物の排出量は前年度より8%削減の460kgとなりました。

2020年度よりテレワーク業務が定着し出社する社員が減少する一方で社内の不要な備品や設備等が増加し処分するものが増加しました。

2023年度はこのような動きも少し落ち着くのでさらなる廃棄物の削減を目指します。

2023年度の産業廃棄物削減量は1%削減の455kgを目指します。

## ・ 職場環境の改善

### 「有給休暇取得率の向上」

今年度の有給休暇取得率は76.6%でした。

背景として、昨年新型コロナウイルスによる輪番休業がなくなり、通常の事業活動に戻った為、有休の取得に繋がりました。取得率につきましては月一度行われる会議で定期的に共有しました。

次年度の目標は今年度目標の維持で75.0%を目指します。

## ・ 有害価格物質の管理

弊社では顧客より化学物質の非含有証明書を求められた場合、要求期日内に対応しております。メーカーより入手済みのデータはCRMデータベースに保存するなど効率よく運用されています。

## 6. 主要な環境活動

取組項目	活動概要	評価	評価内容
電気	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 就業時間前後の空席エリアの消灯をする</li> <li>② 電気ポットは17時30分にOFF</li> <li>③ 設備更新時には省エネ型機器・設備の購入</li> <li>④ 蛍光灯は、省エネタイプに順次切り替える</li> <li>⑤ 冷暖房使用時の温度設定を夏は28℃以上、冬は22℃以下に設定する</li> </ul>	○	太陽光発電システムを導入したが、蛍光灯のON/OFF等啓蒙活動を引き続き行っている。
ガス	ガスの使用なし	—	
水道	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 節水の注意書きを貼る</li> <li>② 節水コマを設置</li> <li>③ 水漏れ箇所の点検・修繕</li> </ul>	○	ほぼ横ばいの使用量が続けていたが、継続的な社内啓蒙活動により減少した。
ガソリン 軽油	<ul style="list-style-type: none"> <li>① エコ運転の推進 <ul style="list-style-type: none"> <li>Ⓐ 荷物は最小限とし、余分な荷物は降ろす</li> <li>Ⓑ タイヤの空気圧は常に最適を保つ</li> <li>Ⓒ 急加速、急停車をしない</li> <li>Ⓓ 低速運転の励行する</li> <li>Ⓔ エアコンの使用を控える</li> <li>Ⓕ アイドリングストップを励行する</li> </ul> </li> <li>② 入れ替え時は省エネ車両の導入を推進する</li> </ul>	○	営業手法の変化でガソリン・軽油を削減することができた。
廃棄物	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 廃棄物排出量の計測</li> <li>② 分別を徹底し、資源化・再利用を優先として区分し、廃棄処理を行う</li> <li>③ 長期保存書類・包装紙・ダンボールについては再資源化を優先し、廃棄物の削減を推進</li> <li>④ 鉄屑・アルミ屑・端材は、再処理業者へ引き渡すなど、再資源化に努める</li> </ul>	○	廃棄物の分別、再利用は徹底されている。今回、社内文書の廃棄が進み、紙ごみは増加した。
物質投入	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 不要コピー用紙のリサイクルボックスによる資源回収・再利用</li> <li>② メール活用によるペーパーレス化</li> <li>③ 両面コピー・印刷の徹底</li> <li>④ 縮小コピーによる使用枚数の削減</li> </ul>	○	ペーパーレス化を一層進めている。

取組項目	活動概要	評価	評価内容
有害化学物質の管理	① 顧客より有害化学物質の非含有証明書の提出を求められたら要求期日以内に対応する。	○	入手済みのデータはセールスフォースのドキュメントに保存されている。
グリーン購入	① グリーン購入法適合商品の積極購入	○	グリーン購入法適合商品は優先的に購入されている。
有給取得率の向上	① 有給休暇の積極的な取得	○	働き方改革宣言によって会社全体で有給休暇の積極的な取得が進められた。

## 7. 環境関連法規への違反・訴訟等の有無

### 当社に関連する法規一覧

法規制	適用内容	評価
廃掃法 (東京都廃棄物条例・規則)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理事業者との契約の締結 (その際 事業許可証の確認)</li> <li>・マニフェスト管理(産業廃棄物排出時)</li> </ul>	○
下水道法	特定施設なし 総排水量 日量 50 m <sup>3</sup> 以下 適用除外	—
RoHS 指令	<ul style="list-style-type: none"> <li>・得意先要求があった場合、メーカーから特定の化学物質含有情報シートを取得し得意先に提出</li> </ul>	○
家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル料金の支払い</li> <li>・引き取り事業者への引き渡し</li> </ul>	○
小型家電リサイクル法	指定小型家電製品の適性な回収処理	—
自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リサイクル税の支払い</li> <li>・引き取り事業者への引き渡し</li> </ul>	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的なエアコンのチェック</li> </ul>	○
東京都環境確保条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ディーゼル車の排出ガス規制</li> <li>・アイドリングストップ</li> </ul>	○

※環境関連法規制／その他要求事項について

その他環境関連法規等の遵守状況を確認し評価した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。



## 8. 代表者による全体の評価と見直し

今年度のエコアクション活動は、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響がありましたが、一定の項目において削減という結果で終わることができました。

電気の使用量については3.1%の微増でしたが、これは偏差の範疇と考えられます。今後は弊社で積極的に推進しているSDGsの一環として、蛍光灯の全社LED化、事務所の省エネ型エアコンの導入、蓄電池の導入等を検討し、効率的なエネルギーマネジメントを推進してまいります。

水道の使用量は17.9%削減となりました。これは、テレワークや休業により出勤者が減ったことでトイレの使用回数が減ったものと考えられます。今後、設備を導入する際は省水型を選択していく予定です。

ガソリン使用量は34.7%増加しました。これはコロナからの事業活動による回復によるもので、通勤に伴う自家用車の使用の見直しにより、営業活動を社有車でまわることにより増加したと考えられます。

軽油使用量は5.8%減少しました。これは遠方の顧客の配送先が減ったことと、燃費については近場中心になっているため落ちています。

一般廃棄物については21.5%減少に終わりました。これはペーパレス化が進んでいるものの、受注件数自体も減少していると考えられます。

次年度も各項目に対して見直しを行い、積極的に改善していきます。

また弊社は事業活動を通じ、SDGsに即した地球環境に調和した体制作りを進めてまいります。